



北岡理事長がベトナムを訪問：

新型コロナウイルス感染拡大後初の海外訪問、再赴任した JICA 海外協力隊を激励

2020 年 12 月 10 日
国際協力機構（JICA）ベトナム事務所

北岡伸一 JICA 理事長は、12 月 9 日新型コロナウイルス感染拡大後、初めての海外出張としてベトナム社会主義共和国を訪れ、12 月 10 日、ベトナムへ再赴任を果たした JICA 海外協力隊を激励しました。

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、全世界の海外協力隊が一時退避していましたが、11 月 25 日に先陣をきってベトナムに再赴任をした JICA 海外協力隊員 4 名が、14 日間の隔離期間を終え任地に赴きます。

北岡理事長は隊員に向け、現地の人々と共に生活しながら相互理解を深め、開発途上国の発展に寄与する海外協力隊の活動は高い評価を得ており、世界に貢献したいと申し出てくれた隊員の代表選手として、ベトナム隊員 4 名が再赴任してくれたことを誇りに思う、と激励しました。

ハノイ市の中央高齢者病院で作業療法士として協力を行う西山 典子（にしやまのりこ）隊員、トゥアティエン・フエ省の障害児・遺伝相談基金で障害児・者支援を行う清水 沙悠梨（しみず さゆり）隊員、ホーチミン市の西側に位置するロンアン省総合病院で看護師として協力を行う大森 美和（おおもりみわ）隊員、メコンデルタのアンザン省チャウドック市人民委員会で観光の協力を行う種市 香織（たねいち かおり）隊員から、今年 3 月の一時帰国後、8 カ月間にわたる日本での待機経験を踏まえた、活動再開の喜びと意気込みについてそれぞれ発表がありました。大森隊員は、「再派遣第 1 陣として、感染予防に注意し、安全に任務を全うすることで、国際協力の道を途絶えさせることなく繋いでいきたい」述べました。

2020 年は、ベトナムへの JICA 海外協力隊派遣 25 周年にあたります。JICA は 1995 年に海外協力隊 3 名の日本語教育隊員を派遣して以降、25 年間で 41 の市や省に、累計 670 名の協力隊員を派遣してきました。支援分野は、日本語教育、保健医療、リハビリテーション、地域復興、スポーツ、農業、観光、障害児・者支援と多岐にわたります。この度の活動再開では、ベトナムでの課題解決に加え、日越両国の信頼関係がさらに深まっていくものと期待しています。JICA は今後も海外協力隊の現場での草の根レベルの活動を通じて、ベトナムの経済・社会への発展へ貢献していきます。

問合せ先：

JICA ベトナム事務所 高木 結実（広報班）

11th Floor, Corner Stone Building, 16 Phan Chu Trinh Street, Hoan Kiem, Hanoi, Viet Nam

Tel: (84-24) 3831 5005 (ext. 137)